

令和3年度事業計画

公益財団法人 滋賀県国際協会

1 基本方針

世界のグローバル化、ボーダレス化が進展する中であって、現在、SDGsに代表されるように、環境や貧困、多様性の尊重など、地球規模の課題に県民一人ひとりが向き合う姿勢が求められている。

当協会では、令和3年度から5年間の第3期中期計画のテーマとして「共感から実践へ」を掲げた。世界とのつながりを意識し、持続可能で、多様性と包摂性のある豊かさを実感できる社会の実現を目指し、行政、地域、組織、企業、個人等が協働し、多文化共生や国際理解を深め活躍できる場づくりやネットワークづくり、人材育成を行い、それぞれの実践につなげるような展開へと広げる。そのためのツールの一つとして、ポストコロナ時代におけるICTの活用も進めていく。

今年度は、県内における「国際感覚に優れた人づくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、民間団体の活動促進」を推進するため、地域国際化協会として適切な役割を果たすことができるよう、広域的、専門的な課題解決に向けて諸事業に取り組んでいく。

2 事業計画

(1) 地域での国際教育の推進

次世代を担う子どもたちをはじめ、すべての地域住民が、地球規模の課題や地域課題の解決に向けた取組を始めることができるように、ファシリテーター（進行役）の養成やオリジナル国際教育教材の研究、普及啓発を行い、当協会がコーディネーター役として、国際教育の普及、促進に努める。

(2) 国際交流の推進

ア 姉妹友好州省および友好地域との交流

姉妹友好州省やその他友好地域との交流を促進するため、使節団等の派遣・受入を行う。

イ ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

ミシガン州立大学連合日本センターの施設管理および運営の推進業務を滋賀県から受託し、ミシガン州立大学連合日本センターの円滑なプログラム推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努める。

ウ 国際交流・協力ライブチャンネルの開催

滋賀県の姉妹友好州省駐在員や国際交流員等と協力をオンラインでつなぎ、海外に行くことなく身近に国際交流を体感できる機会を提供し、国際交流、国際協力の裾野を広げる。また、企業を対象に、開発途上国の現地情報を提供する。

(3) 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応する。また、海外協力隊員等と協力をオンラインでつなぎ、ライブ配信により身近に国際協力の現場を体感できる機会を提供するライブチャンネルの開催により、国際協力の裾野を広げる。

(4) 多文化共生の地域づくり

ア 外国人県民等への支援

外国人県民等のための一元的相談窓口として運営する「しが外国人相談センター」において、外国人県民

等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行う。ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語（タガログ語）、英語およびベトナム語を含む12言語に対応する。滋賀弁護士会との連携により、法律相談を実施する。併せて、各種情報を提供するため、外国人向け情報紙を発行する。

また、進路支援事業では、中学校卒業後の進路に関する情報を得る機会を子どもと保護者に提供する場として、「進路ガイダンス」を開催する。

イ 留学生への支援

県内の短期大学、大学および大学院に在籍する私費留学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、かつ学業成績の優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、生活の安定と学習活動を奨励する。

ウ 災害時の外国人県民等支援

滋賀県と締結した「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」にもとづく予防活動を実施する。大規模災害に備え、県、市町との連携した支援体制づくりを進める。

(5) 情報の収集および提供

県内の国際交流、国際協力に関する情報誌を発行するとともに、ホームページやfacebook、国際情報サロンを活用した情報発信を行う。

(6) 海外渡航の支援

海外の安全情報や渡航に関する情報等を県民に提供する。

(7) ボランティア活動の促進

ア 滋賀県国際協会ボランティア“S I Aボランティア”の登録および活動促進

国際交流、国際協力および多文化共生の地域づくりに関するボランティアの活動を促進する。

イ 災害時外国人サポーターの登録および活動促進

災害時通訳等の外国人サポーターの登録者の拡大および訓練等への参加を促し、支援人材の育成を行う。

(8) 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

地域に根ざした国際交流を推進するため、県民の国際交流ボランティアへの参画を促進し、滋賀県国際交流推進協議会事業を通して市民活動団体とのネットワーク強化に努める。

(9) 基盤整備

大規模災害発生時に、当協会事業の運営および管理を的確かつ円滑に実施するために、BCP（事業継続計画）の策定を行う。

収 支 予 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,358	3,361	△	3
特定資産運用益	3,003	3,003		—
受取会費	2,100	2,220	△	120
事業収益	115	19,343	△	19,228
受取補助金等	60,543	64,055	△	3,512
受取負担金	2,650	2,660	△	10
受取受託金	45,366	45,144		222
受取寄付金	180	160		20
雑収益	3	3		—
経常収益計	117,318	139,949	△	22,631
(2) 経常費用				
事業費	114,120	134,082	△	19,962
管理費	8,287	8,071		216
経常費用計	122,407	142,153	△	19,746
(うち人件費)	58,365	58,766	△	401
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,089	△ 2,204	△	2,885
評価損益等計	—	—		—
当期経常増減額	△ 5,089	△ 2,204	△	2,885
当期一般正味財産増減額	△ 5,089	△ 2,204	△	2,885
一般正味財産期首残高	5,581	7,785	△	2,204
一般正味財産期末残高	492	5,581	△	5,089
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	3,186	3,189	△	3
特定資産運用益	2,989	2,989		—
一般正味財産への振替額	△ 6,361	△ 6,364		3
当期指定正味財産増減額	△ 186	△ 186		—
指定正味財産期首残高	722,301	722,487	△	186
指定正味財産期末残高	722,115	722,301	△	186
III 正味財産期末残高	722,607	727,882	△	5,275

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,964	—	394	—	3,358
特定資産運用益	3,003	—	—	—	3,003
受取会費	1,050	—	1,050	—	2,100
事業収益	115	—	—	—	115
受取補助金等	53,647	330	6,566	—	60,543
受取負担金	—	2,500	150	—	2,650
受取受託金	45,366	—	—	—	45,366
受取寄付金	180	—	—	—	180
雑収益	1	1	1	—	3
経常収益計	106,326	2,831	8,161	—	117,318
(2) 経常費用					
事業費	111,654	2,466	—	—	114,120
管理費	—	—	8,287	—	8,287
経常費用計	111,654	2,466	8,287	—	122,407
(うち人件費)	50,826	1,741	5,798	—	58,365
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 5,328	365	△ 126	—	△ 5,089
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 5,328	365	△ 126	—	△ 5,089
他会計振替額	365	△ 365	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 4,963	—	△ 126	—	△ 5,089
一般正味財産期首残高	△ 7,548	8,639	4,490	—	5,581
一般正味財産期末残高	△ 12,511	8,639	4,364	—	492
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,812	—	374	—	3,186
特定資産運用益	2,989	—	—	—	2,989
一般正味財産への振替額	△ 5,967	—	△ 394	—	△ 6,361
当期指定正味財産増減額	△ 166	—	△ 20	—	△ 186
指定正味財産期首残高	671,686	—	50,615	—	722,301
指定正味財産期末残高	671,520	—	50,595	—	722,115
III 正味財産期末残高	659,009	8,639	54,959	—	722,607

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

(単位 千円)

設備投資の内容	支出または 収入の予定額	資金調達方法 または取得資金の用途
什器備品	690	自己資金により支出

令和2年度事業報告

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。令和2年度は、第2期中期計画の最終年度となることから、第3期中期計画の策定を行った。

令和2年度は、新型コロナウイルスによる協会事業への影響は大きく、感染拡大防止のため、国際交流関連の事業を中心にやむなく中止とした事業もあったが、コロナ禍において生活環境悪化の影響を受けやすい外国人県民等に寄り添った支援を行うため、「しが外国人相談センター」での相談対応の他、県内各地に「みみタロウキャラバン隊」を派遣し、多言語による出張相談を実施するとともに、巡回啓発活動と相談センターの普及啓発に努めた。また、ICTを活用したオンラインによる研修や会議の場を設けることで、行政、市民活動団体間の連携を促進するとともに、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるとともに、人材の育成にも取り組んだ。

1 地域での国際教育の推進

- (1) 国際教育研究会「Global net Shiga」の開催 研究会議 9回 参加者 延べ 101人
- (2) 国際教育教材体験フェアの開催 8月11日 大津市／オンライン 参加者 47人
- (3) 国際教育ファシリテーター養成講座の開催 2月13日 オンライン 参加者 延べ 57人
- (4) 国際教育オリジナル教材の貸出および販売
 - ア 「ブラジルボックス」の貸出13件
 - イ 「非識字体験ゲーム」の販売11件
 - ウ 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」の販売29件
 - エ 「わたしん家の食事から カードゲーム版」の貸出3件、販売25件
- (5) 国際教育研修等への講師派遣 11件、延べ16人 参加者 728人

2 国際交流の推進

- (1) 姉妹友好州省および友好地域との交流

新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、中止
- (2) ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のため、アメリカからの留学生の来日は中止

 - ア 施設の維持管理
 - イ ミシガン州立大学連合日本センター運営の支援
 - (ア) 県民向け英語プログラムの運営支援（近江八幡教室、彦根教室、土曜子ども英語教室等）
 - (イ) ミシガン州立大学連合日本センターを利用した地域との交流プログラムの実施
 - (ウ) その他プログラム（国内留学プログラム等）の運営支援
- (3) 裾野を広げる国際交流
 - ア 外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応した。

4 多文化共生の地域づくり

(1) 外国人県民等への支援

ア しが外国人相談センターの設置 月曜日～金曜日 10:00～17:00
対応言語：ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語を含む12言語 相談件数 1,603件

イ 外国人のための手づくり情報紙「みみタロウ」の発行 年4回 10言語 20,000部/回

ウ 相談員研修会・連絡会議の開催 2月25日、3月17日 大津市 参加者 延べ 31人

エ 法律相談 相談件数 13件

オ 在留資格出張相談会の開催 10月11日 近江八幡市 相談件数 6件

カ 出張相談活動および広報啓発「みみタロウキャラバン隊」の実施 6月～11月 派遣回数 52回

キ 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

(ア) 子どもへの日本語指導者養成講座 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(イ) 進路ガイダンス 10月11日 近江八幡市 参加者 54人

(ウ) 外国人学校対象学校給食への県産食材提供推進事業の実施

県内の外国人学校4校に対し、学校給食の食材として滋賀県産の米と近江牛を提供

ク 日本語指導者養成講座の開催（びわこ日本語ネットワークとの共催）

7月12日 大津市 参加者 10人

ケ 災害時の外国人支援

(ア) 災害時外国人サポーター養成講座（滋賀県との共催）2月6日 オンライン 参加者 33人

(イ) 近畿地域国際化協会連絡協議会災害時外国人支援研究会への参加 4回

(ウ) 消防職員への外国人対応に関する研修会への講師派遣 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

コ 多文化共生に関する研修等への講師派遣等 5件 参加者 143人

(2) 外国籍学生への支援

留学生への奨学金の支給 支給人員 10人 支給額 月額20,000円/人

(3) 多文化共生によるまちづくり

ア 防災から広げる共生のまちづくり事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 多文化共生に関する情報提供およびアドバイス等 相談件数 80件

5 情報の収集および提供

(1) 国際交流・協力情報誌「S I A しーあ」の発行 年3回 日本語 2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 年12回

(3) ホームページおよびfacebookによる情報提供

(4) 国際情報サロンによる情報提供

6 海外渡航の支援

- (1) 渡航相談、海外情報の提供
- (2) パスポート用写真撮影 撮影時間 月曜日～金曜日 9:00～16:30 (4月27日以降休止)

7 ボランティア活動の促進

- (1) 滋賀県国際協会ボランティア“S I A^{しーあ}ボランティア”の登録および活動促進 登録者 延べ 242人
(通訳、翻訳、ホームビジット、ホームステイ、国際交流支援)
- (2) 災害時外国人サポーターの登録および活動促進 登録者 123人

8 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

- (1) 滋賀県国際交流推進協議会(68団体加盟)の開催 全体会議等1回 研修会1回
- (2) 国際交流推進セミナーの開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

9 基盤整備

令和3年度から令和7年度までの5年間の第3期中期計画を策定した。

正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,358,633	3,361,355	△ 2,722
特定資産運用益	3,000,517	3,000,519	△ 2
受取会費	1,868,000	2,069,000	△ 201,000
事業収益	366,415	24,102,526	△ 23,736,111
受取補助金等	66,772,517	65,793,776	978,741
受取負担金	2,662,800	2,781,570	△ 118,770
受取受託金	37,980,744	40,666,662	△ 2,685,918
受取寄付金	150,600	211,800	△ 61,200
雑収益	2,197,741	295,207	1,902,534
経常収益計	118,357,967	142,282,415	△ 23,924,448
(2) 経常費用			
事業費	112,228,721	136,619,508	△ 24,390,787
管理費	8,363,492	8,129,442	234,050
経常費用計	120,592,213	144,748,950	△ 24,156,737
(うち人件費)	61,060,577	57,069,101	3,991,476
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,234,246	△ 2,466,535	232,289
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 2,234,246	△ 2,466,535	232,289
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	1	1	-
経常外費用計	1	1	-
当期経常外増減額	△ 1	△ 1	-
当期一般正味財産増減額	△ 2,234,247	△ 2,466,536	232,289
一般正味財産期首残高	41,445,987	43,912,523	△ 2,466,536
一般正味財産期末残高	39,211,740	41,445,987	△ 2,234,247
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	3,186,199	3,188,921	△ 2,722
特定資産運用益	2,986,417	2,986,419	△ 2
一般正味財産への振替額	△ 6,359,150	△ 6,361,874	2,724
当期指定正味財産増減額	△ 186,534	△ 186,534	-
指定正味財産期首残高	722,487,178	722,673,712	△ 186,534
指定正味財産期末残高	722,300,644	722,487,178	△ 186,534
III 正味財産期末残高	761,512,384	763,933,165	△ 2,420,781

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,965,673	-	392,960	-	3,358,633
特定資産運用益	3,000,517	-	-	-	3,000,517
受取会費	934,000	-	934,000	-	1,868,000
事業収益	109,500	256,915	-	-	366,415
受取補助金等	59,623,118	328,195	6,821,204	-	66,772,517
受取負担金	12,800	2,500,000	150,000	-	2,662,800
受取受託金	37,980,744	-	-	-	37,980,744
受取寄付金	150,600	-	-	-	150,600
雑収益	1,737,031	446,074	14,636	-	2,197,741
経常収益計	106,513,983	3,531,184	8,312,800	-	118,357,967
(2) 経常費用					
事業費用	108,493,370	3,735,351	-	-	112,228,721
管理費用	-	-	8,363,492	-	8,363,492
経常費用計	108,493,370	3,735,351	8,363,492	-	120,592,213
(うち人件費)	52,942,866	1,935,256	6,182,455	-	61,060,577
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 1,979,387	△ 204,167	△ 50,692	-	△ 2,234,246
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△ 1,979,387	△ 204,167	△ 50,692	-	△ 2,234,246
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用					
什器備品除却損	-	1	-	-	1
経常外費用計	-	1	-	-	1
当期経常外増減額	-	△ 1	-	-	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 1,979,387	△ 204,168	△ 50,692	-	△ 2,234,247
一般正味財産期首残高	26,203,086	10,419,762	4,823,139	-	41,445,987
一般正味財産期末残高	24,223,699	10,215,594	4,772,447	-	39,211,740
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,813,414	-	372,785	-	3,186,199
特定資産運用益	2,986,417	-	-	-	2,986,417
一般正味財産への振替額	△ 5,966,190	-	△ 392,960	-	△ 6,359,150
当期指定正味財産増減額	△ 166,359	-	△ 20,175	-	△ 186,534
指定正味財産期首残高	673,072,829	-	49,414,349	-	722,487,178
指定正味財産期末残高	672,906,470	-	49,394,174	-	722,300,644
III 正味財産期末残高	697,130,169	10,215,594	54,166,621	-	761,512,384

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	25,266,474	27,318,222	△ 2,051,748
未収金	12,683	25,405	△ 12,722
預託金	11,440	11,440	-
立替金	4,388	5,497	△ 1,109
流動資産合計	25,294,985	27,360,564	△ 2,065,579
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	2,752,269	2,752,269	-
定期預金	38,261,314	38,261,314	-
投資有価証券	394,666,099	394,838,533	△ 172,434
基本財産合計	435,679,682	435,852,116	△ 172,434
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	30,216,742	27,422,563	2,794,179
減価償却引当資産	3,489,997	3,280,389	209,608
びわこ奨学金基金	300,128,225	300,142,325	△ 14,100
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	5,178,000	-
協会50周年準備資金積立資産	500,000	250,000	250,000
その他受取寄付金(研修)	565,178	514,578	50,600
特定資産合計	340,078,142	336,787,855	3,290,287
(3) その他固定資産			
建物附属設備	489,523	911,276	△ 421,753
車両運搬具	1	1	-
什器備品	659,638	869,253	△ 209,615
その他固定資産合計	1,149,162	1,780,530	△ 631,368
固定資産合計	776,906,986	774,420,501	2,486,485
資産合計	802,201,971	801,781,065	420,906
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,199,943	10,157,372	42,571
預り金	272,902	267,965	4,937
流動負債合計	10,472,845	10,425,337	47,508
2 固定負債			
退職給付引当金	30,216,742	27,422,563	2,794,179
固定負債合計	30,216,742	27,422,563	2,794,179
負債合計	40,689,587	37,847,900	2,841,687
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	722,300,644	722,487,178	△ 186,534
指定正味財産合計	722,300,644	722,487,178	△ 186,534
(うち基本財産への充当額)	(422,172,419)	(422,344,853)	(△ 172,434)
(うち特定資産への充当額)	(300,128,225)	(300,142,325)	(△ 14,100)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	39,211,740	41,445,987	△ 2,234,247
(うち特定資産への充当額)	(13,507,263)	(13,507,263)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(9,733,175)	(9,222,967)	(510,208)
正味財産合計	761,512,384	763,933,165	△ 2,420,781
負債及び正味財産合計	802,201,971	801,781,065	420,906

貸借対照表内訳表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 資 産 の 部					
1 流 動 資 産					
現金預金	12,270,384	10,302,442	2,693,648	—	25,266,474
未収金	12,683	—	—	—	12,683
預託金	11,440	—	—	—	11,440
立替金	4,388	—	—	—	4,388
流動資産合計	12,298,895	10,302,442	2,693,648	—	25,294,985
2 固 定 資 産					
(1) 基 本 財 産					
普通預金	2,430,254	—	322,015	—	2,752,269
定期預金	33,784,741	—	4,476,573	—	38,261,314
投資有価証券	348,490,165	—	46,175,934	—	394,666,099
基本財産合計	384,705,160	—	50,974,522	—	435,679,682
(2) 特 定 資 産					
退職給付引当資産	26,759,219	—	3,457,523	—	30,216,742
減価償却引当資産	3,081,667	—	408,330	—	3,489,997
びわこ奨学金基金	300,128,225	—	—	—	300,128,225
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	—	—	—	5,178,000
協会50周年準備資金積立資産	500,000	—	—	—	500,000
その他受取寄附金(研修)	565,178	—	—	—	565,178
特定資産合計	336,212,289	—	3,865,853	—	340,078,142
(3) そ の 他 固 定 資 産					
建物附属設備	489,523	—	—	—	489,523
車両運搬具	1	—	—	—	1
什器備品	474,939	79,157	105,542	—	659,638
その他固定資産合計	964,463	79,157	105,542	—	1,149,162
固定資産合計	721,881,912	79,157	54,945,917	—	776,906,986
資産合計	734,180,807	10,381,599	57,639,565	—	802,201,971
II 負 債 の 部					
1 流 動 負 債					
未払金	10,018,517	166,005	15,421	—	10,199,943
預り金	272,902	—	—	—	272,902
流動負債合計	10,291,419	166,005	15,421	—	10,472,845
2 固 定 負 債					
退職給付引当金	26,759,219	—	3,457,523	—	30,216,742
固定負債合計	26,759,219	—	3,457,523	—	30,216,742
負債合計	37,050,638	166,005	3,472,944	—	40,689,587
III 正味財産の部					
1 指 定 正 味 財 産					
寄付金	672,906,470	—	49,394,174	—	722,300,644
指定正味財産合計	672,906,470	—	49,394,174	—	722,300,644
(うち基本財産への充当額)	(372,778,245)	(—)	(49,394,174)	(—)	(422,172,419)
(うち特定資産への充当額)	(300,128,225)	(—)	(—)	(—)	(300,128,225)
2 一 般 正 味 財 産					
一般正味財産	24,223,699	10,215,594	4,772,447	—	39,211,740
(うち基本財産への充当額)	(11,926,915)	(—)	(1,580,348)	(—)	(13,507,263)
(うち特定資産への充当額)	(9,324,845)	(—)	(408,330)	(—)	(9,733,175)
正味財産合計	697,130,169	10,215,594	54,166,621	—	761,512,384
負債及び正味財産合計	734,180,807	10,381,599	57,639,565	—	802,201,971